

中学年国語科学習指導案

大分大学教育学部附属小学校

1. 単元名 斎藤隆介展を開こう～イチオシの登場人物を紹介～
教材：「モチモチの木」（教育出版3年下） 他 斎藤隆介の作品
新美南吉展を開こう～イチオシの登場人物を紹介～
教材：「ごんぎつね」（教育出版4年下） 他 新美南吉の作品

2. 単元の言語活動とその特徴（以下4年ベースで作成）

（1）言語活動

本単元を貫く言語活動として、自分が選んだ新美南吉作品の大好きな登場人物について、叙述を基に性格や人物像をまとめ、展覧会形式で紹介し合うことを位置づけた。登場人物の性格を、会話文や行動を表す叙述を基に多面的にとらえたり、人物の性格にぴったりの一文をまとめたりして紹介しあう言語活動である。

（2）言語活動の特徴

本単元で児童がつくる紹介カードと選んだ本への付箋は次のような構造を持っている。

登場人物らしさが表れている文
大好きな登場人物を紹介する、捉えた人物像とぴったりの一文。

〇〇のプロフィール
大好きな登場人物の境遇や生活の様子について、叙述を基に読む。（C-ウ）

本題名と好きな登場人物

開くと、中に理由が書いています。

一文を選んだ理由
場面の移り変わりに注意しながら好きな人物の人物像について叙述を基に想像して読む。（C-ウ）

〇〇の性格
大好きな登場人物の性格を表す複数の叙述に想像して読み、付箋をはったり、まとめたりする。（C-ウ）

女の子のついでやさしいつそを本当にするために言っている。やさしさにあふれた言葉です。人間に見つからないようにおなを用心していたのに、女の子のために人間の前にはすかたをあらわしたおにたのやさしさを感じます。

節分だから、ごちそうがあまたんだ。おにたは、一生けんめい、さつき女の子が言ったとおりに言いました。

【プロフィール】
小さな黒おにの子ども。ひとりぼちで住む家をさがして、るひらさや豆が苦手。

【おにたの性格】
ほずかしがりやで気のいいおに。人間に対して用心深い。が、三まている人をほおっておけないやさしいおに。

(3) 言語活動とねらいの結びつき

上記のようなカードを作って新美南吉展でイチオシの登場人物を紹介するために、児童は新美南吉の作品を登場人物の性格や境遇（くらしぶり）などの叙述に着目しながら読んでいく。そして、それらを場面の移り変わりや人物像と関係付けながらまとめていく。この時に、本単元のねらう第3学年及び第4学年「C 読むこと」の指導事項「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」ができると考えた。

3. 単元について

(1) 児童について

「C 読むこと」の指導事項については、「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」に関わって、1学期に「不思議の解き明かしをしよう。」という単元で、「車の色は空の色」シリーズの不思議を解き明かすために、場面と場面を関連付けて、叙述をもとに物語のしかけを考える学習を行った。また、2学期の単元「平和の本の感動を伝えよう。」では登場人物の気持ちの変化をとらえることをねらいとして、感動を中心に物語を読み進めていった。また「ト書きをつけて、オリジナル音読劇を作ろう。」では登場人物の性格をセリフを基にとらえたり、想像したことをト書きに表したりする学習を進めてきた。このような学習を通して、児童は性格につながる言葉や文章を見つけながら読むことはできるようになってきた。しかし、複数の叙述を関係づけながら登場人物の性格をとらえることには至っていない。

そこで、本単元では、自分の大好きな登場人物の性格について、根拠となる複数の叙述を関係付けながらまとめる力を付けていきたいと考えている。

(2) 教材及び単元構想について

① 教材について

本単元の共通学習材として「ごんぎつね」を扱う。共通学習材である「ごんぎつね」は、登場人物について会話や行動から性格をとらえやすい文章である。また、同じ叙述からでもごんぎつねの性格を多様にとらえることができる作品である。

並行読書材として新美南吉の作品を複数準備している。新美南吉の作品は、子どもの生活、身近な動物たちを描きながら、心の通い合いや美しい生き方といったテーマを描いている作品が多い。その物語は美しい文章、巧みな心理描写、ユーモアに彩られている。登場人物は子どもや幼い動物が多いため、児童にとっては親しみやすいだろう。巧みな心理描写、会話文などから人物の多面性に気付かされる作品が多い。本単元では新美南吉作品の中から人物を多面的に描かれている作品をとりあげ、その中から自分の大好きな登場人物を選び、紹介することを位置づけた。

② 単元構想について

事前指導として、教師が作成したあまんきみこ作品の人物紹介カードを図書館に展示しておき、児童の目にふれるようにしておく。また、新美南吉作品を教室に置いておき、朝読書の時間や休み時間に子どもたちが自由に手に取って読める場を作っておく。新美南吉のいろいろな作品に触れることで、新美南吉作品に対する関心が高まるようにしておく。

第一次では、教師が作成した紹介カードを提示しながら、児童も「自分の好きな登場人物を見つけたい」「好きな登場人物を紹介したい」という思いを喚起できるようにする。教師のモデルから、登場人物を紹介するためにどんな事柄が必要かを考えたり、登場人物を紹介する紹介カードを作るための学習計画を立てたりしながら、学習の見通しをもたせるようにする。さらに学ぶ意義も共通

理解しておく。

並行読書材の読み終えた作品については、好きな登場人物が〈いる〉〈いない〉の観点で、作品リストにチェックできるようにし、子どもたちが紹介したい人物を選ぶ時に助言できるようにしておく。また、性格を表す言葉についてもどのような言葉があるのかを共通理解できるようにする。

第二次では、共通学習材「ごんぎつね」を、自分の好きな登場人物を紹介するために性格を表す文や言葉に着目しながら読んでいけるようにする。教師の紹介カードを作る際の性格を表す言葉の見つけ方を共有できるようにする。そして、「ごんぎつね」の登場人物の性格を表れている叙述を自分で見つけて付箋をはったり、教科書にはった付箋を示しながらとらえた性格について交流できるようにする。交流は、全文掲示を活用して叙述と叙述とを関わらせて登場人物の性格をとらえたり、登場人物の性格のとらえ方が複数あることに気付かせたりしながら、人物の性格を多面的、多角的に捉えることができるようにする。更に、とらえた人物像にぴったりな一文と選んだ理由を明確にすることでより深く人物像に迫っていけるようにする。

第三次では、共通学習材での学びを自分の選んだ本でも活用させていく。人物が多面的にえがかれている作品の中で、友だちと随時交流しながら、大好きな登場人物についてまとめられるようにする。

事後指導として完成したカードを展示し、全校の児童や保護者に見てもらうことで個々の学びを実感できるようにしたい

③指導の工夫について

本単元では、教師の作成した「おにたのぼうし」の「おにた」の紹介カードを使って、児童が大好きな登場人物の紹介をするという学習の見通しをもちやすくする。また、3年生は斎藤隆介展、4年生は新美南吉展を開いて全校のみんなや保護者の方に見ていただくことを投げかけることで、色々な作品から好きな登場人物を探してみたいという思いや“わたしの紹介カードを作りたい”という意欲を高め、主体的に取り組んでいけるようにする。

また、「学びに向かう力」や「主体的な学び」を育成することができるように、単元の見通しを立てる際に教師の作成した紹介カードを基に、この単元でどんな力がつくのかという学ぶ意味についても子どもたちと共有できるようにしていきたい。

登場人物の性格をとらえる学習では、性格を表す叙述に付箋をはって、その際、全文掲示を活用して全員の考えを可視化し、登場人物の性格について、友だちと交流しながらとらえ直したり、自分がその登場人物に魅かれたところや根拠をはっきりさせたりすることができるようにする。

本単元では、登場人物の性格やぴったりな一文についてまとめるときに生じる困りをいつでも相談できるようにペアやグループで活動できるように場を作ったり、声かけしたりしていくようにしたい。そうすることで、児童が主体的に学ぼうとする姿や協働して課題解決する力を育成していきたいと考えている。

4. 単元の指導目標

- 自分のイチオシの登場人物を紹介するために、いくつかの本を読んだり、繰り返し読んだりしながら、選んだ登場人物に対する思いを深めようとする。 (関心・意欲・態度)
- 場面の移り変わりに注意しながら、自分が選んだイチオシの登場人物の性格や人物像について、叙述を基に想像して読むことができる。 (読むことウ)
- 表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解することができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ (オ))

5. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
登場人物を紹介するために、いくつかの本を読み比べたり、繰り返し読んだりしながら、大好きな登場人物に対する思いを深めようとしている。	場面の移り変わりに注意しながら、自分が選んだイチオシの登場人物の性格や人物像について、叙述を基に想像して読んでいる。(ウ)	表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また語句には性質や役割の上で類別があることを理解することができる。(イ (ウ))

6. 指導と評価の計画（8時間扱い）4年ベースで作成していますが、本日の3年生分も組み込んでいます。

時	○主な学習活動	【評価】（評価方法）及び※留意点
事前	<p>○教師が作成したあまんきみこ作品の人物紹介カードを図書館に掲示しておき、児童の目に触れるようにしておく。</p> <p>○事前に学校図書館や県立図書館等から新美南吉の作品を準備し、教室に展示して朝読書の時間や休み時間に子どもたちが自由に手に取って読める場を作り、作品に対する関心を高められるようにしておく。</p>	
1 本時① （3年生）	<p>○教師が作った「おにたのぼうし」の「おにた」の紹介カードを基に単元の目的や学ぶ意味についても出し合いながら学習のねらいをつかむとともに学習計画を立て、今後の見通しをもつ。</p> <p><めあて> 紹介カードの作りを知り、学習計画を立てよう。</p>	<p>【関】 斎藤隆介展で自分のイチオシの登場人物を紹介したいという思いをもち、これからの学習に臨もうとしている。(発言・態度・振り返り)</p> <p>※教師の紹介カードを基に、学ぶ目的や意義を子どもたちに自由に出させながら共通理解できるようにし、これからの学習に主体的に取り組めるようにする。</p> <p>※教師の紹介カードではプロフィールとして年齢や性別、境遇や生活の様子(家族構成)などをあげているが、場合によっては性格や人物像が入ることなども知らせ、今回の紹介カードではプロフィールや性格を分けていくことを共通理解できるようにする。</p>
2	<p>○新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、性格を表す言葉を集めながら「ごんぎつね」の本文を読む。</p> <p><めあて> 新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、性格を表す言葉を集めながら「ごんぎつね」を読もう。</p>	<p>【言イ(ウ)】 表現したり理解したりするために性格を表す語句を見付けたり、使ったりしている。(発言、ノート)</p> <p>※教師の作成した新美南吉展の紹介カードの性格を表す言葉をヒントにどんな言葉があるか見付けながら読む。実際に性格を表す言葉があまり使われていないことに子どもが気づいたら、どこに着目すれば良いのかを考えさせながら、会話や行動などに着目し、想像していけば良いことを共通理解できるようにする。</p> <p>※性格を表す言葉については、教師からも提示し、</p>

			<p>新たな語彙として教室に掲示しておく。</p> <p>※「言イ(オ)」については、随時評価していくようにする。</p>
第二次	3	<p>○新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、選んだ登場人物の境遇や生活の様子が分かる叙述に着目しながら読み、紹介カードのプロフィールをまとめる。</p> <p><めあて></p> <p>新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、ごんのプロフィールをまとめよう。</p>	<p>【Cーウ】 ごんの境遇や生活の様子について叙述を基にとらえて読み、まとめている。</p> <p>(発言・教科書に貼った付箋・紹介カード)</p> <p>※家庭学習としてごんの境遇や生活の状況が分かる叙述に付箋(ピンク)をはらせておく。</p>
本時② (3年生)	4	<p>○斎藤隆介展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、豆太の性格について、行動や会話などの叙述に着目して読み、交流を通して、複数の叙述を関係付けて性格をとらえる。</p> <p><めあて></p> <p>斎藤隆介展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、豆太の性格をまとめよう。</p>	<p>【Cーウ】 豆太の性格を会話文や行動など複数の叙述に着目し、様々にとらえている。</p> <p>(発言、教科書に貼った付箋、紹介カード)</p> <p>※家庭学習として豆太の性格が分かる叙述に付箋(青)を貼らせておく。</p> <p>※全文掲示の活用や交流を生かして、登場人物の性格を複数の叙述からとらえられるようにする。</p>
	5	<p>○新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、選んだ登場人物の紹介にぴったりな一文と選んだ理由について、場面の移り変わりに注意しながら人物の性格を捉えてまとめる。</p> <p><めあて></p> <p>新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、ごんの紹介にぴったりな一文とその文を選んだ理由をまとめよう。</p>	<p>【Cーウ】 場面の移り変わりに注意しながら、自分が選んだイチオシの登場人物の人物像について、叙述を基に想像して読んでいる。</p> <p>(発言・態度・紹介カード)</p> <p>※家庭学習でごんを紹介する時にぴったりだと思う文に付箋(黄)を貼らせておく。</p> <p>※全文掲示を活用し、選んだ理由を自由に交流できるようにする。その後、全体交流でも全文掲示を使い、場面の移り変わりや叙述と叙述の結びつきに注意しながらごんの人物像により迫っていけるようにする。</p>

第三次	6	<p>○新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、選んだ登場人物の境遇や生活の様子分かる叙述に着目しながら読み、紹介カードのプロフィールをまとめる。</p> <p><めあて></p> <p>新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、イチオシ登場人物のプロフィールをまとめよう。</p>	<p>【C-U】登場人物の境遇や生活の様子について叙述を基にとらえて読み、まとめている。</p> <p>(発言・教科書に貼った付箋・紹介カード)</p> <p>※「ごんぎつね」での学習を想起させ、選んだ登場人物の境遇や生活の状況分かる叙述に付箋(ピンク)をはり、カードにまとめることができるようにする。必要に応じて友だちと自由に交流できるようにしておく。</p>
本時③ (4年生)	7	<p>○新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、選んだ登場人物の性格について、行動や会話などの叙述に着目して読み、複数の叙述を関係付けて性格をとらえる。</p> <p><めあて></p> <p>新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、イチオシ登場人物の性格をまとめよう。</p>	<p>【C-U】登場人物の性格を会話文や行動など複数の叙述に着目し、様々にとらえている。</p> <p>(発言・教科書に貼った付箋、紹介カード)</p> <p>※「ごんぎつね」での学習を想起させ、選んだ登場人物の性格分かる叙述に付箋(青)を貼り、カードにまとめることができるようにする。必要に応じて友だちと自由に交流できるようにしておく。</p>
	8	<p>○新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、選んだ登場人物の紹介にぴったりな一文とその文を選んだ理由について、場面の移り変わりに注意しながら人物の性格を捉えてまとめる。</p> <p><めあて></p> <p>新美南吉展でのイチオシ登場人物の紹介に向け、イチオシ登場人物の紹介にぴったりな一文と選んだ理由をまとめよう。</p>	<p>【C-U】場面の移り変わりに注意しながら、自分が選んだイチオシの登場人物の人物像について、叙述を基に想像して読んでいる。</p> <p>(発言・態度・紹介カード)</p> <p>※「ごんぎつね」での学習を想起させ、イチオシ登場人物を紹介するときにぴったりだと思ふ文に付箋(黄)を貼り、選んだ理由をまとめさせる。必要に応じて、自由に交流できるようにし、場面の移り変わりや叙述と叙述の結びつきに注意しながら人物像により迫っていけるようにする。</p>
事後		<p>○3年生と連携し斎藤隆介展、新美南吉展を開催。全校児童や保護者の方に自由に感想をもらえるようにするとともに、お互いの感想も交流しながら自他の学びを実感できるようにする。</p>	